

平成 24 年 4 月 15 日公開 IT パスポート試験 分析資料

株式会社ウイネット
情報処理教育研究室

平成 23 年 11 月より、IT パスポート試験は CBT 方式に実施されています。試験問題の公開は年 2 回 (4 月と 10 月) 行われます。今年は、平成 24 年 4 月 15 日に公開されました。

弊社では、模擬試験ご採用校様の一部並びに弊社教材外部ライティングスタッフの皆様から、本試験出題内容に関するご意見を聴取させていただき、情報処理教育研究室で整理及び分析を行いました。今後のご参考として、今回公開された本試験 (以下、H24 春と表記) の分析をご報告させていただきます。

1. 分野別出題数

分野			H24 春	H23 秋	H23 春	H22 秋	H22 春	H21 秋
1	ストラテジ系	小問	29	31	32	32	30	28
		中間	7	4	3	3	5	7
		合計	36	35	35	35	35	35
2	マネジメント系	小問	21	21	22	20	21	25
		中間	4	4	3	5	4	0
		合計	25	25	25	25	25	25
3	テクノロジ系	小問	34	36	34	36	37	35
		中間	5	4	6	4	3	5
		合計	39	40	40	40	40	40

- CBT 方式になってから、小問は問 1～問 84 の 84 問、中間 (中間 A～D) は問 85～問 100 の 16 問で構成されています。分野別の出題数は、情報処理技術者試験の試験要綱 (IPA) の 15 ページに、100 問出題中、ストラテジ系 35 問程度、マネジメント系 25 問程度、テクノロジ系 40 問程度と明記されています。
- 中間が A～D になったことにより、前回と比較して中間の問数はストラテジ系が 3 問、テクノロジ系が 1 問増えています。

2. 大分類別出題数

大分類		H24 春	H23 秋	H23 春	H22 秋	H22 春	H21 秋
1	企業と法務	18	17	17	15	16	15
2	経営戦略	8	11	10	10	9	12
3	システム戦略	10	7	8	10	10	8
4	開発技術	11	10	10	10	9	11
5	プロジェクトマネジメント	7	5	5	7	8	7
6	サービスマネジメント	7	10	10	8	8	7
7	基礎理論	7	5	6	7	10	6
8	コンピュータシステム	8	10	13	9	10	10
9	技術要素	24	25	21	24	20	24
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回の試験と比較して、3 問以上出題数が増えた大分類は、“システム戦略 (+3 問)”でした。
- 前回の試験と比較して、3 問以上出題数が減った大分類は、“経営戦略 (-3 問)”、“サービスマネジメント (-3 問)”でした。

3. 中分類別出題数

中分類		H24 春	H23 秋	H23 春	H22 秋	H22 春	H21 秋
1	企業活動	12	9	10	10	11	11
2	法務	6	8	7	5	5	4
3	経営戦略マネジメント	4	7	5	8	7	9
4	技術戦略マネジメント	1	1	1	1	0	0
5	ビジネスインダストリ	3	3	4	1	2	3
6	システム戦略	5	5	5	6	6	6
7	システム企画	5	2	3	4	4	2
8	システム開発技術	10	10	10	8	8	10
9	ソフトウェア開発管理技術	1	0	0	2	1	1
10	プロジェクトマネジメント	7	5	5	7	8	7
11	サービスマネジメント	4	6	6	5	5	6
12	システム監査	3	4	4	3	3	1
13	基礎理論	3	2	3	3	5	3
14	アルゴリズムとプログラミング	4	3	3	4	5	3
15	コンピュータ構成要素	3	3	4	3	3	3
16	システム構成要素	2	3	3	3	3	4
17	ソフトウェア	3	3	5	3	3	3
18	ハードウェア	0	1	1	0	1	0
19	ヒューマンインタフェース	1	1	2	2	0	0
20	マルチメディア	4	2	1	1	1	1
21	データベース	4	5	3	4	4	7
22	ネットワーク	6	5	6	3	5	5
23	セキュリティ	9	12	9	14	10	11
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回の試験と比較して、3 問以上出題数が増えた中分類は、“企業活動 (+3 問)”、“システム企画 (+3 問)”でした。
- 前回の試験と比較して、3 問以上出題数が減った中分類は、“経営戦略マネジメント (-3 問)”、“セキュリティ (-3 問)”でした。

4. 中間 A～D (問 85～問 100)

	テーマ	分野	難易度	コメント
中間 A	事務機の機種選定方法	ストラテジ系 3 問 テクノロジ系 1 問	やや易	大小関係に注意すれば、難なく解けた問題でした。
中間 B	システムの受入れテスト	マネジメント系 3 問 テクノロジ系 1 問	普通	複数の条件を整理することがポイントでした。
中間 C	提案依頼書の作成	ストラテジ系 3 問 マネジメント系 1 問	普通	問題文を正確に読解すれば、解けた問題でした。
中間 D	チェック数字	ストラテジ系 1 問 テクノロジ系 3 問	やや易	チェック数字の計算方法を理解すれば、難なく解けた問題でした。

5. 新用語と今後の対策

シラバスに明記されていない新用語として、コンカレントエンジニアリング (問 3)、クロスセリング (問 12)、シックスシグマ活動 (問 24)、CMMI (問 38)、インセンティブ (問 44)、CSS (問 53)、プログラムカウンタ (問 61)、ホワイトリスト (問 68)、NAS (問 74) などが出題されました。

このように、新用語は毎回出題されますが、総合で 60%、各分野で 30%以上得点すれば合格ですので、まずはシラバスの用語を徹底的にマスタし、過去問題及び公開問題で実践力を身に付け、類似問題は 100%正解できるようにする対策が重要になります。